



広島東南ロータリークラブ 週報 2018年3月26日 (第2689回例会)

例会日 月曜日 ANA クラウンプラザホテル広島 Tel. 241-1111
事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 Tel. 221-4894
会長 伊藤正樹 幹事 菅 富誉樹



3月は「水と衛生月間」です

本日の例会

スケジュール

12:30 点 鐘
「四つのテスト」唱和
ロータリーソング「それでこそロータリー」
来客紹介 (親睦委員会)
会食
12:45 会長時間 (伊藤会長)
幹事報告 (菅 幹事)
委員会報告
・出席報告 (出席委員会)
・その他
同好会報告
S.A.A.
13:00 プログラム
13:30 点 鐘

会長時間

○4月より新規米山記念奨学生受入決定(1年間)
担当カウンセラー天野國幹会員に委嘱状の伝達

幹事報告・委員会報告

○次回4/2(月)は休会です。(定款8条第1節Cにより)
○例会終了後、4月定例理事役員会開催
○18:30～次年度第1回クラブアッセンブリー開催。

本日のプログラム

「今年のカーブを占う」
プロ野球解説者 外木場 義郎 様

次回例会(4月9日)

「パールハーバーRC歓迎例会」
国際奉仕・姉妹クラブ担当

前回 2018年3月19日例会

「故伊藤剛二名誉会員追悼例会」



【 故伊藤剛二名誉会員ロータリー歴 】

1961.7月 入会
1965～66年度 クラブ幹事
1976～77年度 クラブ副会長
1985～86年度 クラブ会長
2007～08年度 「超私の奉仕賞」
2011.6月 退会
2011.7月 名誉会員
◎マルチプルポールハリスフェロー
◎米山功労者(第3回マルチプル)



「超私の奉仕賞」楯

《 伊藤剛二先生を偲んで—追悼のことば》

大濱 紘三

はじめに、伊藤剛二先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。伊藤先生は当クラブが創立された翌年の1961年7月に入会され、2011年に退会されるまで50年に渡り、ロータリーに関する多くの資料を読み込んで、ロータリアンとしてのあるべき姿を勉強され、実践され、それを私たちに示して来られました。正に先生は東南RCのチャーターメンバー的存在であり、生き字引的存在であり、先生が私たちのクラブに在籍されていること自体が私たちに誇りでもありました。7年前に私が会長職を無難務めることができたのも、ロータリー定款や細則について、例会卓話などで何度か聞かせていただいたお蔭だと思っています。

伊藤先生は、私にとって社会人として生きる上での恩人でもあります。それは当クラブの会員として推薦していただいたことです、そのお蔭で私はこの26年余り、クラブの皆さんとの交

流を通じ充実した人生を送ることができました。私が広島大学の教授に就任して間もなく、「教授という職種は自分の世界に閉じこもり勝ちだが、これからは広い視野を身に付け、多様なものの考え方を受け入れる人間になる必要があり、そのためにはロータークラブは最適な場である。私が推薦するからは是非入会するように」として、土肥雪彦先生と二人が推薦人となって入会させていただきました。もし伊藤先生のご配慮がなく、ロータリーに入会する契けがなければ、私の人生は全く偏狭でつまらないものになっていたものと思います。

先生は医師としての理想的な姿を私に示していただきました。それは生涯研修に努めること、自らの健康に気を配ること、そして何事も率先して行動することの重要性です。人の生命にかかわる職業に従事する医師は、日進月歩の知識や技術の習得に努めなければなりません。とは言え、ある年齢に達するとどうしても「もういいや」と思うようになるのですが、ある勉強会で、最長老の伊藤先生が最前列に座り、自分が

納得するまで質問をされている姿を目にしたことがありました。このように何事につけても納得できるまで理解しようとされる先生の気概は、例会の卓話などでも感じられたものです。

また健康維持のために歩け歩け運動を推進されておりまして、水泳にも取り組まれ、毎回泳いだ距離を記録され、トータルで日本一周を達成したとか、今二周目に入って青森に辿りついたとして、「にこにこ箱」に申告されていました。さらに健康倶楽部という健診センターを開設され、広く地域住民の健康管理に当たっておられたことは皆さんご承知の通りです。私もジム通いや、機会を見つけてはウォーキングに努めていますが、これも伊藤先生の影響を受けての行動であります。

先生の行動力の凄さはロータリーの奉仕活動にも及び、中でもミクロネシアのチューク州（旧トラック諸島）に簡易型蒸留水装置を設置するというパールハーバーRCとの共同プロジェクトを成し遂げられ、国際ロータリーから2007-08の「超私の奉仕賞」を受章されたことは特筆すべきです。さらに先生は、現地住民のために健康診断や健康指導を実施され、何度もチュークを訪問されていますが、これこそが先生の本領発揮だと思っています。先生は若き日に軍医として過ごされ、ある例会で、軍刀を携えた凛々しい姿をスライドで拝見させていただきましたが、戦時中に滞在したトラック諸島の住民への感謝の意を込めて、このような支援活動を決行されたのではないかと思います。先生のような生真面目さと他人を思いやる人間味あふれる優しさが、97年に渡る先生の人生の基軸になっていたものと思います。正に「ロータリアンの鑑」と言えましょう。

この様な素晴らしい先生と、日々ロータリー活動を通じてご一緒出来ことは、私たちににとってこの上ない幸せでした。改めて先生の数々のご業績を噛みしめるとともに、長年にわたるご指導に感謝申し上げ、伊藤剛二先生への追悼の言葉とさせていただきます。

中谷 一彌



私が、当クラブに入会したのは、1990（H2）年9月で、故杉原昭三さんと日高靖彦さんの紹介でした。当時の会長は故秋山九朗さんでした。

当時私は、県医師会の常任理事を務めていて（2004年3月迄）伊藤先生とは何かにつけお会いする機会が多く、よく存じ上げていました。

先生は非常な勉強家で、多くの勉強会や研究会、又学会に参加されており、その節必ず手を挙げて質問される、又ご自分の意見を述べ論議される姿を今でも思い出します。

その伊藤先生が当クラブの会員であり、私が入会して余り日にちが経っていなかった時と記憶していますが、「ちょっと中谷君」と呼び止められ、何かと身構えていましたら「あんだ、

医師会の合唱団やとったんじゃけん、東南RCにも男声合唱団を作りんさいや」との声掛け、まだ会員の方も数名しか存じ上げていないのに何という申し入れかと呆れたり、吃驚したりし丁重にお断りした事を思い出します。

しかし、ひるがえってRIエコーの生い立ちを見てみますと、伊藤先生の存在が大きいのしかかって来ます。

1986（S61）年8月26日にRIエコーは、同年度会長の仁田一也会長夫人を初代会長として発足しています。（この年伊豆大島が大噴火しています）

ところがこのRIエコーの生みの親が伊藤剛二先生だったのです。伊藤さんは（1985～86）年度会長で、1986（S61）年1月新入会員を囲む夫婦同伴懇親会を開催され、この場で会長は女声合唱団創設の計画を述べられています。その後伊藤会長からRC会員夫人に対して女声合唱団創設の賛否のアンケート調査が行われ、その結果に基づき次年度即ち（1986～87）年度仁田一也会長の時、野村親睦委員長のお世話で会員募集が為され、28名の発足メンバーで中国放送テレビ局副制作部長の要職にあられた才木幹夫先生を指導者に迎え発足したのです。即ち伊藤先生はRIエコーの影の仕掛人、生みの親ともいえます。

その後1997～98年度櫻井会長の時、故北川洗太郎さんの呼び掛けで男性もRIエコーに参加する事となり、1998年5月23日島根県平田市で開催された、第4回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭は、混声合唱として新たにデビューを果しています。参加人数は38名でした。以後北川代表の下、RIエコーは順調に育って参りました。

即ち、RIエコーの生みの親は、伊藤剛二先生であった事を皆さんにご披露させて頂きました。

最後に、伊藤先生は強烈な個性の持ち主でもありました。例会の時、卓話等で1分でもオーバーすれば、スプーンでグラスを叩かれ注意されていた事が、今でも耳に残っています。

また2007～2008年度に、RI最高の賞「超私の奉仕賞」を受けられた、ミスターロータリーとも言える伊藤剛二会員が亡くなられた年に、ご息子が会長を務められたという事もただならぬ因縁だと思ひ感慨深いものがあります。

先生のご冥福をお祈りします。

神辺 眞之



伊藤剛二先生にお会いする度に、私は、「先生はサムライだなあ」といつも尊敬していました。

「伊藤剛二先生のご実家は、可部の奥にある飯室地区を代々治めていた大変な名家なんだよ」と飯室の神社の私の後輩の神主さんから聞いたことがあります。

伊藤剛二先生は五臓六腑の中でも最も分かりに

くい膝臓病の研究をされ、多くの膝臓病の専門医を育てられました。広大病院には優秀な研究に与えられる「伊藤剛二賞」があります。

私が尊敬します伊藤剛二先生は正に文武両道を備えたおサムライで、いつもスケッチブックを持っておられて、特に花の水彩画は素晴らしかったのを思い出します。

真夏の繁華街を「車にのるまーで」の幟を持って黙々と歩いてるお姿や、戦争で被災したトラック島への毎年のように検診に行かれた伊藤剛二先生を忘れることは出来ません。

伊藤剛二先生は「超我の奉仕賞」を授賞されましたが、「超我の奉仕」に疑問を持つ私に「相手のことを思って行う奉仕だよ。」と優しく教えていただいたのを忘れません。

伊藤剛二先生は「地球を2周分泳いだよ」と言われていたように、水泳で体を鍛えておられたようでしたので、もっと、もっと長生きしていただいていると教えてもらいたかったです。

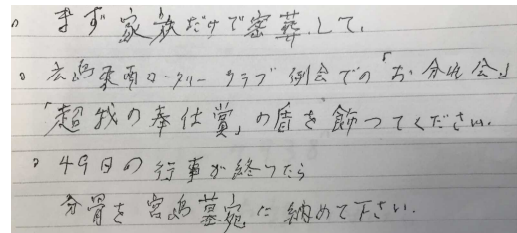
「伊藤剛二先生、どうぞ安らかにお休みください。」合掌

謝辞 伊藤 正樹

本日は追悼例会を開いていただき、誠にありがとうございます。

故人がカーブ好きでしたから、キャンプ前に健康診断に来られた、天谷選手、石原選手、新井選手のベテラン勢から、激励のサインをいただき写真と一緒に病室に届けました。故人は喜んでくれました。

約5年前にこのメモとそこに飾ってある写真を私の所に持ってきて、このような段取りで進めて欲しいと言っておりました。お陰さまで昨日49日と納骨も終わり、本日の追悼例会ですべて完遂したことになります。ロータリアンになったことで、東南ロータリークラブに所属していたことで、豊かな、満足のいく人生を送れたと思います。皆様には心から感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございました。



「クラブ創立記念日に寄せて」

錦織亮雄 会員



入会して44年目に入りました。入会に当たってロータリアンの守るべきことを教えられますが、厳しいのは、定款に終結規定（首切り規定）がある ●会費を払え ●例会に出席せよ の二つです。

昔は半年間ごとに出席が50%未

満であったり行事への参加が12時間未満であったり、ホームクラブへの出席が30%未満であったりすれば強制終結、すなわち止めさせられる厳しさだったのですが、今は「理事会が欠席の理由を正当と認めない場合は終結できる」と甘くなっています。

そのほかに ●雑誌購読 ●時間厳守 ●会合への出席 ●奉仕活動への参加 ●徽章の着用等がありますがこれらには終結規定はありません。

そのほかに我がクラブは ●迅速な返信 と ●ロータリーのことを頼まれたらNOとは言わない という不文律を持っています。

その教えを破って43年間に3回NOと言いました。もちろんすべてやむを得ない事情によるものです。

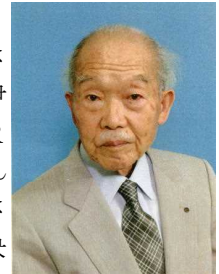
3回とは、2001のIM実行委員長、2007～08年のAG、2013～14年のAGの指名を断ったことです。それぞれ日野さん、久行さん、神辺さんの男気に助けられました。

本日は伊藤剛二先生の追悼例会ですから伊藤先生に関係する2007～08年のAG指名の時のエピソードをお話しします。

私の辞退の要望に応じて再指名のための会議を開

いたのですが、誰も引き受け手がなくて困っていましたが、伊藤剛二先生が「わしがやりましょう」と名乗りを上げられたのです。先生はその時86才でした。後に先生から、「あの時は命がけで引き受けた」と手紙をいただいております。死ぬかも分からないので引き受けた日に遺影を撮影に行かれたそうです。

ところが、翌日になって久行さんが「どう考えても86歳の伊藤先生をAGに出すのは東南RCの恥になる」と男気を出されて「わしが引き受ける」と申されて、再度会議を開いて一度決めたことをひっくり返して久行



その時のお写真

さんをAGに出すことに決定したのです。久行さんはこの男気のために必死で勉強され大変立派にAGをつとめられました。この間のことは「久行のひとこと」に心情が書かれています。伊藤先生からは「これで遺影の写真も要らなくなりまして 長生きができます」と、少し無念なような 少しやれやれありがたやのような やり方に不満なような、複雑な手紙をいただきました。

お二人ともロータリーの神髓をよく勉強されたいい意味でのロタキチを自認されておりました。手紙にはいつも「伊藤 ロタキチより」「ロタキチになった久行より」とありました。

伊藤先生、櫻井さん、仁田さん、久行さんと継承された、我がクラブの「神髓ロタキチ伝統」を若い人たちが継承して行ってほしいと思います。

第二回経営研究会 「広島不動産事情と不動産を中心とした相続対策について」
 山下 泉会員(ゼネラル興産株式会社)、神田 敏治会員(税理士法人神田事務所)

3月14日(水)に ANA クラウンプラザホテル (カトレア) で第二回経営研究会を開催いたしました。山下会員と神田会員御二方を講師に「広島不動産事情と不動産を中心とした相続対策」をテーマにお話していただきました。35名の方に出席いただき、我々にとっても関心のあるテーマであることから、皆様熱心に聞いていらっしゃいました。少しご紹介いたしますと、最近、不動産の金融商品化が活発であり、広島は出遅れた感がありましたが、ファンドの投資が多数進出しており、これから進出の機会が増えるとのこと。広島市は地価が高く全般的に収益性が劣っていることが遅れの要因でしたが、これからは利回りが低くても広島へ投資してくることは確実だとのこと。これからは、相生通り、鯉城通りを中心にビル建て替えが進む方向です。主要都市の地価は10%以上上昇となり、一極集中、バブル期を超え、このため金融機関は選別融資の施策に入っており、投資家向けの融資体制が大きく変化しています。また金融庁も不動産の貸出比率が上昇していることを懸念し、業種的に貸出抑制の政策に転換し不良債権の発生を未然に防ぐ策に転じています。



講師 山下 泉 会員



講師 神田敏治 会員

本通り、金座街は原爆投下後の区画整理事業により「うなぎの寝床」状態です。このことで、容積率600%の地域にも関わらず建物を高度利用できないため2～3階建の活用に終わっております。これからは、西日本地域で一番の商店街(通行客平日5万人、土日祝10万人)を共同ビル化や再開発による建築計画を進めなければ、優良なテナント誘致もできません。本通りは地価が高く、その分相続税も高額です。本通りを守るため、自ら生き残るためにも共同ビルや再開発で有効活用することが重要とのこと。

住宅に関しましては、戦後人口増加に伴い沢山の団地ができましたが、平成になり人口減少に転じ過疎化が進んでいて、高齢家族や空き家が増え、バスの便は減少するか廃止となり、高年齢層は利便性の良い都心部の分譲マンションや戸建てに転居する現象が起きています。しかし、現在の住宅を売却する際、希望通りの価格での成約が難しくなっているということです。



伊藤 会長 挨拶



柄 副会長 閉会 挨拶

相続におきましては、税法が改正され基礎控除額が下がり、相続税の対象となる人も増えるなど、勉強しておかなくてはならない内容ばかりでした。相続税の算出方法、贈与や相続の非課税対象の詳細、不動産を活用した相続対策についてわかりやすいアドバイスをご講義いただき今後の参考にしていただけたかと思えます。

最後になりますが、僅か1時間という短い時間ではありましたが大変ためになるお話をしていただき、詳しい資料やレジメまでもご準備いただきました大先輩の御二方にあらためて御礼申し上げます。そして、ご出席いただきました皆様にもあらためて御礼申し上げます。(報告：職業奉仕・経営研究担当リーダー 成宮正和)

3月19日 累計：1,269,122円
 (本例会 16,000円)



- 妹尾年朗：妻の誕生日に素敵なお花をいただき、ありがとうございます。大変喜んでおりました。(1口)
- 松原 進：妻の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。(1口)
- 枝村 博・林良一・橋本浩二・林 満生・中村伸弘・谷井智・上田康博・行武治子・山西裕司・佐野庸子・久保和浩・大井克元・成宮正和・山仲 巖：ガバナー杯野球大会を勝ち進んだ野球同好会への激励を込めて、1口ずつ、出宝頂きました。(各1口・合計14口)

4月の例会プログラム

- 4/02 休会
- 4/09 「パールハーバーRC 歓迎例会」
- 4/16 「ねこの駅長たま
 ～びんぼう電車をすくったねこ～」
 両備ホールディングス会長
 小嶋 光信 様(岡山RC所属)
- 4/23 「大学における母子保健教育」
 広島国際大学 医療福祉学部
 医療福祉学科 保育学専攻
 助教 光盛 友美 様
- 4/30 休会